

Progress report + 1

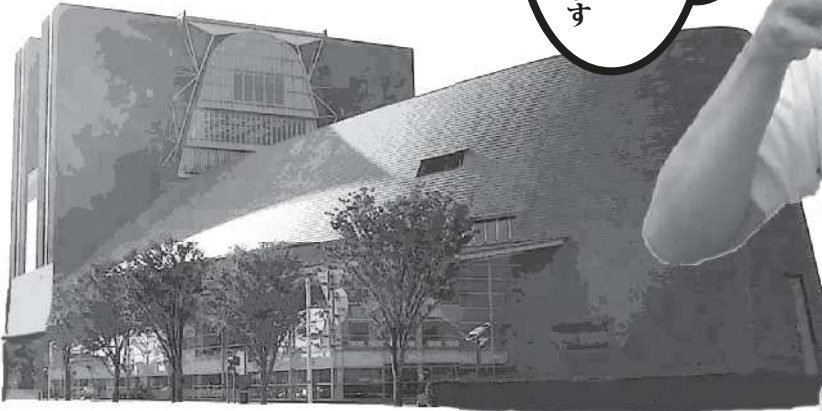
November, 2016



そうだ！静岡に行こう！！

「SF セミナー」「静岡ホビーショー」「いせしまこん」イベントレポート！！
静岡・アニメ聖地巡礼のススメ：静岡県伊豆下田《夏色キセキ》

ドンブラコンLLに
ご乗船いただき誠に
ありがとうございます



実行委員長あいさつ **池田 武** IKEDA, TAKESHI



第56回日本SF大会『ドンブラコンLL』実行委員長の池田武です。
このたび、6年ぶりに静岡県で日本SF大会を開催することとなりました。
会場は前回と同じく、JR「東静岡」駅横の静岡県コンベンションアーツセンター「グランシップ」です。

前回の開催にあたっては、土地勘も何もないところから会場となる「グランシップ」をはじめ静岡市、静岡観光コンベンション協会・ホビーマーカー・旅行者や飲食業界の皆様に大会を説明し、多大な協力をいただき、様々な困難を乗り越えました。

今回は同じ会場で開催することによって、そのときの縁を頼りに盛大に開催したいと思います。

同じ会場で勝手が分かっているからこそ、革新的なことを色々取り上げていきたいと考え、前回の『ドンブラコンL』と同様に、基本的に面白ければ何でもありの方針で運営していきますので、やりたいことのある人はどんどん提案をしてください。

大会としても「新しい企画」を考えていますが、いざやろうとなるとハードルが高く難しいなども感じています。

また参加者の皆さんにもご協力のお願いをすることもあるかと思いますが、楽しい大会を目指しますのでどうぞよろしくお願いいたします。

第56回日本SF大会『ドンブラコンLL』
実行委員長 池田武

第56回日本SF大会「ドンブラコンLL」に参加する前に、

まずはSFイベントを知ろう!

「SFセミナー」「静岡ホビーショー」
「第55回日本SF大会〈いせしまこん〉」



SFセミナー2016

年1回全電通労働会館
ホールにて開催。昼
会のみ3,000円、合宿
込10,000円(事前)。

2016年
5月

月	火	水	木	金	土	日
						1
			4	5	6	7
			8	9	10	11
			12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28	29

第55回日本SF大会 「いせしまこん」

三重県鳥羽市「戸田家」
にて開催。合宿タイプの
日本SF大会。参加費
33,000円。

第55回 静岡ホビーショー

木・金はビジネスデー
のため、関係者のみ。
土・日は一般公開日。
入場無料。

2016年
7月

月	火	水	木	金	土	日
				1	2	3
4	5	6	7	8	9	10



コンベンション
一覽

2017年
以降

はるこん2017

SFセミナー

75th WorldCon

SFファン交流会

ロリコン (ローカル・リフレッシュ・コンベンション)

京都SFフェスティバル

チィなこん

HONGCONG

出雲SFコンパ雲魂

GATACON2016 in 湯河原

4月22～23日

5月4～5日

8月9～13日

毎月1回

毎年6月頃

毎年10月頃

毎年10月頃

毎年10月頃

毎年11月頃

毎年11月頃

神奈川県・横浜市開港記念会館

東京都・全電通労働会館ホール

フィンランド・ヘルシンキ

東京都・笹塚区民会館

長野県・ペンション「セブンロッジ」

京都府・京都教育文化センター

愛知県・五色園

秋田県・本荘ステーションホテル

島根県・湯の川温泉「湖静荘」

神奈川県・湯河原温泉「高すぎ」

SFファンには古くからファン同士の交流イベントというものがあります。その代表格が「日本SF大会」ですが、その他にも、一年を通して様々な土地でSFイベントが開催されています。

地方で開催されるコンベンションは通称「ローカルコン(地方コン)」と呼ばれ、「日本SF大会」の規模を小さくしたものが多く、コンベンションによっては、飲み会中心であったり、講演などの企画が中心であったりと違いはありますが、基本的にはSFファンが集まる交流の場として活用されています。

近年では土日の一泊二日という日程で開催されることが多く、時期的には秋ごろに集中している印象です。参加費は平均して一泊二日で約一万円。温泉宿や合宿所を利用しています。宿泊は別料金の場合もあります。

今回は二〇一六年に開催されたSFコンベンションのイベントレポートを掲載しました。一体どんなことをしているのかを知って頂き、興味が出ましたらぜひとも来年以降参加してみてください!

なお、SFのコンベンションではありませんが、SFと親和性が高く、今回のドンブラコンLL開催地である静岡で有名な「静岡ホビーショー」を紹介させていただきます。静岡の意外な魅力を知って、ドンブラコンLLをさらに楽しみましょう!

SFセミナー 2016

全電通労働会館ホール
鳳明館森川別館

5月4日(本会)

5日(合宿)

SFセミナーは一九七七年に神戸で第一回が開催され、一九八〇年からは東京で年次開催されているコンベンションで、八四年度以降の日程はゴールデンウィーク中が恒例となつています。モットーは「SFを語る場をつくる」で、企画のゲストは小説家・翻訳家・評論家が中心ですが、過去には庵野秀明さん、出渕裕さんのように映像関係の方をお招きしたこともあります。

『PSYCHO-PASS』のスタンオフを手がける吉上亮さんの三名。話はノベライズの仕事から来たきつかけから始まり、原作の設定を尊重しながら独自の世界観を構築していく工夫などが語られ、各人各様の方法論が明らかにされました。映像と文章の表



<http://www.sfseminar.org/>

--

/sfseminar



▲「クロスメディアの作家たち」

現の違いについて、三名が共通して小説のほうがりやすいと挙げた点が登場人物の内面描写。逆に映像にはかなわないという点に関しては大樹さんの「文章では戦闘シーンの最中に、ヒロインの乳揺れや尻が描写できない」という発言が会場の笑いを誘っていました。

続く二コマ目は『三体』以降の中国SF。はるばる中国からお越しいただいた作家のスタンリー・チェンさんと立原透耶さんが、パワポを使いながら中国SFの現状についてお話ししました。昨年、劉慈欣の『三体』が中国語作品としてはじめてヒューゴー賞を獲得したことで、政府もSFに注目するようになったとのこと。『科幻小説』は現在中国唯一のSF雑誌で、五十年を超える歴史を誇り発行部数は何と十萬部。企画の後半では九〇年代以降に活動を開始した作家が十名以上紹介されましたが、やはりばりのハードSFから純文学寄りの作品まで各人の作風は幅広いようです。中には正体不明で、複数の人間が共同で書いているのではと噂されている作家も。日本作品も小川一水『時砂の王』、伊藤計劃『虐殺器官』などが訳され人気を集めているとのことでした。また近年ではSF映画の制作にも力が入れられているそうです。

三コマ目は「SFファンタジー翻訳教室」。事前にロバート・シエクレーの掌編の原文を課題として提示し、参加者から翻訳を募集するというワークショップ形式の企画で、七名がエントリーしました。当日は、原文を冒頭から逐語的に追いつつ、各人の翻訳を西崎憲さんが読み比べながら講評する形で進行了ました。西崎さんが強調していたのは、翻訳とは英文の解釈ではなく小説の解釈の問題だということ。定冠詞と不定冠詞、「student」「tail」「stranger」といった中学レベルの英単語でも、解釈によって翻訳された日本語が大幅に違ってくるのが具体的に示されます。そのほかにも、訳文中におけるカタカナ語やカッコの扱いなど、英語と日本語双方にわたって一字一句もゆるがせにしない、プロの翻訳家の精神がよくわかる企画でした。企画の最後は、エントリした参加者を舞台上に上げてのトークセッションで幕を閉じました。

最後の四コマ目は「會川昇イタビユー『コンクリート・レボルティオ』超人幻想」『ヒロー・伝奇・SF』。脚本と小説、アニメと特撮、SFとミステリと伝奇など、媒体・ジャンルの垣根を越えて活躍中の會川昇さんにお話をうかがう企画です。聞き手は日下三蔵さん。話はまず會川さんがシリーズ構成として関わったテレビアニメ『コンクリート・レボルティオ』から始まります。これは會川さんが長年暖めていた企画で『ワイルド・カード』やアラン・ムーアの影響を受けているそうです。そこから會川さんの過去へ遡り、通っていた中学校に教育実習生として来たのが池田憲章さんで、授業中に筒井康隆の『パブリック創世記』を朗読した！などの裏話を交えつつ、高校生で脚本家デビューした経緯についてのお話となりました。企画の最後で話題はもういちど現代へ戻り、會川さんの伝奇観・小説観が窺える貴重なものとなりました。

本会終了後は合宿です。和風旅館の大広間でオープニングを行ったあとは、四部屋に分かれての分科会形式となります。本会ゲストを交えての昼の補完的な企画が四つ、そのほかに十企画がありましたが、ひとつひとつの内容まで言及している紙幅がないので、十企画のタイトルだけ紹介します。「日本SF大賞について楽しく話そう」、「ヒューゴーショックとはなにか?」、「のめらにゃん斎『怪獣狂言丑寅の巻』」、「前島賢にラブを教える部屋」、「日本SF大会チャネル／SFセミナー出張版」、「ジェンダー／SF研究会の部屋」、「ナイトランドセッション／ナイトランド叢書のいままでとこれから」、「今読む『カエランの聖衣』、そして『ヘイスクリンの聖衣』」、「いせしまこんの部屋」、「『MELANO MUSEUM』の謎」。

なお二〇一七年度は五月四日～五日に、本会・全電通労働会館ホール(御茶ノ水、合宿・鳳明館森川別館(本郷)で開催の予定です。

Welcome

Willkommen Bienvenue Benvenuto
Bienvido 熱烈歓迎 환영합니다

模型の世界首都へようこそ

SHIZUOKA HOBBY SHOW 2016

静岡ホビーショー

静岡ホビーショー、それは日本のプラモデル出荷額の九十四%を占める日本最大の模型生産地である静岡にて毎年五月第三週末曜日から日曜日にツインメッセ静岡で行われる世界有数の模型玩具の見本市なのです。

第55回 静岡 ホビーショー

ツインメッセ静岡

5月12日～15日



<http://www.hobby-shizuoka.com/>



--



--

前回のドンブラコン以来、毎年静岡ホビーショーにお邪魔させていただいておりますが、今年はドンブラコンとしてホビーショーへ行くこととなりました。

ホビーショー期間中「ホビーのまち」を自負する静岡では、ホビーショーと連動してタミヤ本社のオープンハウスや「静岡ホビースクエア」での企画展、提携する宿でのプラモデルプレゼントなども行われていますし、ドンブラコン会場となるグランシップでは、日本最大級といわれる鉄道模型イベント「トレインフェスタ」など様々なイベントが開催されています。

ホビーショーは平日の二日間が業者日、土日を一般日としており、実行委員会では業者日にお伺いさせていただいているのですが、業者日の方

が人も少ないので、新製品をじっくりと見ることが出来、出展されている各社の皆様からいろいろと話を聞けるといふ利点もありますが、イベントとして楽しむなら一般日の方が良いでしょう。

業者日では商談用のスペースとなっている場所が、一般日には合同作品展の会場となっているのでプロ・アマモデラーの様々な作品を見ることが出来ますし、メーカーブースでは物販や体験イベントなど楽しみも沢山あります。他にも自衛隊の装備品展示や同じツインメッセ内でモデラーズフリマというイベントも開催され、狭い会場なのにとっても一日では網羅できない充実ぶりなのです。

私自身は飛行機を中心としたスケールモデルメインのモデラーなので、スケールモデル系のブースにのめり込んでいますし、今回ホビーショーに行った実行委員会メンバーでもラジコンメイン・鉄道メインで楽しんでいる、人それぞれにホビーショーの楽しみどころがあります。

いや、何が面白かったか語りたいところはいろいろありますが、プロGRESSレポートの紙面の都合もありますし、ホビーショーで発表された新しい新製品については続々と発売されているので、模型店に足を運んで見ていただければと思います。



▲「さわやか」のげんこつハンバーグ

他にも、この時期の静岡を訪れるのなら食の楽しみを外すことはできません。

春のサクラエビ漁の期間中なので、他では食べることのできない生のサクラエビを堪能することが出来るというのは、静岡だからこその楽しみです。SF大会期間中は漁期ではないので、ホビーショーの時期に静岡に行って、生サクラエビも堪能するというのはどうでしょうか。賢沢に生サクラエビとシラスをダブルで楽しむのも乙なものです。

私は、静岡で一泊するので、サクラエビ・シラスに静岡お

▼期間限定生のサクラエビ丼



でんを食べるのが夜の楽しみになっています。

そして、実行委員会で静岡に行った時に決まって昼飯を食べるところは、静岡オーカルの炭焼きレストラン「さわやか」のげんこつハンバーグなど、食事の充実ぶりは摂取カロリーさえ考えなければいくらでもいけます。

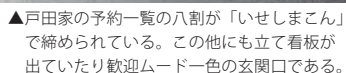
お酒なら、ツインメッセから徒歩十分の位置にある、オタクな酒屋として知られる鈴木酒店で萌酒というのもおすすです。店そのものがネタになっているのですが、置いている酒は良いものばかりです。

最初は新作の発表目当てで静岡ホビーショーに行っていたのを見ていくうちに「模型」の二文字を外しても静岡に行くのが楽しくなってきました。

皆様も、ぜひSF大会以外でも、静岡を楽しんでください。

▼鈴木酒店のオリジナル萌酒コーナー





7月9日~10日

前日の七月八日の午前。集合場所の人形町。車には既に機材や物販用の本などが既に積み込まれている。同乗するのは運転をしてくれるK氏にM女史、O

氏、F女史と自分の五人。高速道路のサービスエリアで休んだぐらいで何事もなく無事に名古屋に到着。各人のホテルを周りに、駐車場に車を入れ、アニメショップや自衛隊グッズの店などがあるオタクな通りを抜けて飲み屋。適当なところで解散して各自の宿泊場所へ。自分は知り合いの家に転がり込む。

知り合いの娘S嬢が小川一水氏が来るので参加したいと云いだし、一人ぐらい当日参加ができるだろうと、一緒に集合場所の名古屋の駅前へ。鳥羽に向かう最中に雨が降り出す。カーナビが遠い道を選ぶので、皆で運転のK氏に指示をするのだが、ついついカーナビの指示を聞いてしまふK氏の運転であつちへふらふらこつちへふらふらと進むことに。R女史を鳥羽水族館で降ろし、目の前を一旦通り過

待ち受けていたN氏に加藤直之氏の絵などを渡し、物販の本などをディラーズルームに運ばうと思つたら、部屋が変わつたとのこと。ディラーズルームからかけ離れた辺境の地に追いやられていた。文句を云つても仕方がないのど準備を始める。一人用の食卓を並べ、白める。一人用の布をかけ、委託本（早川書房や東京創元社など）を検品し、値段を確認し、販売の準備が整い、後は頒布するだけである。

一段落したところで、皆の受付を済ませ、S嬢も手続きを済ませきちんと当日参加となる。そして個人の荷物を宿泊部屋に運ぶ。三部屋もあり、大きなお風呂、簡易であるがキッチンも付いた立派な部屋。布団も座布団もふっかつかふか。ゆっくり休んで疲れも取れそうである。しかし昼食は、別便で来ていたH氏がコンビニで買ってきたくれたおにぎりやパンと情けない。

落ち着いたところで、日本SFファングループ連合会議総会に行き、年会費を払い、議決権は知り合いに任せてくる。ついではディラースルムを見てくると、余裕たつぷりのスぺー。なぜ、あんな訳のわからないところに配置されたのか、全く訳がわからない。

オープニングが終わった頃から参加者がぼちぼちと覗きに来る。する事は本の販売と、はるこん二〇一七及び来年の第五十六回日本SF大会ドンブラコン

田家に来たときに大変良かったので、期待大。一ヶ所のところに行くのと、定員になったからもう入れないとのこと。時間前なのにそれは無いんじゃないかと思いがちでも、もう一方の場所へ。こちらもういろいろあつてちよつと残念な結果に。これはこれで旅行の醍醐味の一つなのかな？

日付も変わって、三時頃まで
やって店じまい。少し休んで
ふっかふかの布団で寝たわけ

受付の担当してくれた人の死
どが、ドンブラコンのスタ
タッフがいたにもかかわらず、
スタッフじゃなかったのです。
（こんなことをここで書いてい
て良いのだろうか？）

他の荷物も車に載せ、皆でお伊勢さん。熱々の伊勢うどん(わざわざ「熱々」と書いてあるの)が理由は省略しました。こちらが遅かったので、いせしまこんに参加していた見知った顔とどんだんすれ違ふ。外宮を回ったところで、赤福水で一休み。内宮を廻って、解散。K氏の車には、N氏、O氏、R女史、S嬢。S嬢だけを名古屋で降ろし、皆は車で帰るはずが、明日の都合を考えてK氏以外は新幹線で帰ったとのこと。自分はH氏の方面にM女史と乗せてもらい関西方面へ。途中のコンビニで売ったなどのお金をATMに入れないに。しかし千円札が多い上に一度に五十枚しかはいらないので、ATM前で長々こそこそ作業する羽目に。何か悪党になった気分ですF大いせしまこんを終えたのである。



▲『ガガンガンで遊ぼう!』

「いせしまこん」レポート②

今年も七月九日〜十日と、日本SF大会に行ってきました。今年の大会は「いせしまこん」。すなわち、三重県は伊勢とJRの鳥羽駅のすぐ前にある老舗温泉旅館戸田家さん。実は大会スタッフの下見会で一度泊まっているのですが、とにかく食事がおいしくていい温泉のある旅館なのです。

そんな会場でのSF大会ですが、今年はいつもと違ってディーズルームに申し込みをしませんでした。というのも、今回のいせしまこんはリゾート型大会。宿を会場にしてほぼ終夜企画が行われる形式で、しかも私はディーズルーム以外に常設の企画をやることになっていたのです。その企画が、『ガガンガンで遊ぼう!』です。

ディーズルームというのは同人誌即売コーナーである。ディーズルームとかPX（酒場）とかいう常設企画は、そうした企画の合間の時間や、見たい企画がどうしてもない時に来る場所である。私はコミケと違って商業誌も売ることができるのでいつもは自著を売っている。今年は長谷敏司氏も自著の海外翻訳版やグッズなどを置いていた。

今年は本を売ることほしなでロボットバトルの体験コーナーをやることになった。実行委員会が気を利かせてくれて本を売るスペースももらえた。

まるで屋台の親父みたいな調子。ちなみにタカラトミーからは公式サイト画像や動画の使用許諾をもらっている以外はなんの供与も受けていません。

自分の企画の話じゃなくて大会のレポートでしたね。

毎年ディーズルームは広いホール形式の部屋を使って他の企画と同居することが多いのですが、今年は私のロボットバトル体験企画とPXと同じ部屋に、部屋を出てすぐ目の前ではヒゲキタさんの立体ドーム映像企画とSF大会チャンネルというニコニコ動画を使った放送企画とがありました。

PXは全国から集めたり持ち寄りしたりするお酒が飲めるので、正直言ったらかなりおもしろい企画です。あれ？ ドンブラコンLは都市型大会だからPXは合宿での開催になるから



▲ヒゲキタさんの立体ドーム映像

もしれないですね。

ヒゲキタさんの立体ドーム映像は毎年プログラムが工夫されていていて、是非観ていただきたい企画。手作りっぽい外観からは想像がつかないくらい凝った映像で、観るとびっくり。今回も、何度も上映中のドームから歓声が漏れ聞こえてきていました。

SF大会チャンネルは、いろんなゲストが入り替わり立ち替わり、なんだか旅館の仲居さんまで引張り込んで楽しそうでした。

さて、最初に書いた通り、今回のいせしまこんは老舗温泉旅館での開催でした。温泉に入らなくちゃはじまりません。

旅館には大浴場と露天風呂と二種類の浴場があったのですが、私がお風呂に行けるようになったのは午前二時過ぎ。その時間だとも



▲ニコ生放送にひっぱりこまれ勧誘されている仲居さん

う開いているのは露天風呂だけでした。

旅館の建物の海側に縦方向に何種類かの露天風呂が配置されたなかなかいいお風呂でした。

ところでドンブラコンLの合宿が開催される予定の三保園さんのお風呂もなかなかいいですよ。海べりの温泉らしく塩っ辛いお湯が印象的なんです。

そんなわけで、ごくごく限られた範囲のいせしまこんレポートでした。

静岡県内のオタクな名所を巡るこの連載の第一回は、伊豆半島のほぼ南端。伊豆下田を紹介いたします。二〇一二年に放送されたアニメ『夏色キセキ』の舞台です。

アニメの聖地というと、風景は作中そのままだけれど地名は変えてあったりすることが多いのですが、この伊豆下田は登場した風景の位置関係は変更されているものの、地名自体はそのまま伊豆下田とされています。

本作は伊豆下田に住む四人の女子中学生が夏休みに経験する少し不思議な日常を描くもので、監督は映画『楽園追放』の水島精二監督。声優アイドルユニット・スフィアの四人が主人公の四人を演じ、OP/EPテーマ曲を「スフィア」として歌い、作中では主人公たちが憧れるアイドル「フォーシーズン」と主人公たちが自身が四人で歌う時に名乗る「フォースターズ」と、三種類の声で歌っているのも見所（聞き所？）です。

伊豆下田は静岡市からはかなり離れていますが、まあ、遠いところから徐々に静岡市に近づいていくというところで。

下田市内で『夏色キセキ』作中に登場した場所は、大きく分けて二カ所に固まっています。伊豆急下田駅から商店街を経由して下田公園に至る一帯と、道の駅開国下田みなと周辺です。この二カ所は少し離れていますのでバスか自家用車での移動がおすすめです。



▶伊豆急下田駅ちかくのローソン

OPを含めて作中何度も出てきたローソンは、伊豆急下田駅のすぐ近くにあります。ただし、作中で主人公たちがいつも座っていたベンチはありません。それ以外の店舗周辺の様子はよく再現されています。

ローソンから国道一三六号線を南に渡って土産物店の横に入っていくところ辺りから、商店街があります。その商店街の中央付近にある一時預かり駐車場の傍らにあったのが、「ハリスの足湯」。

無料の足湯で人気だったのですが、残念ながら二〇一六年三月いっぴいで営業を終了。解体されたそうです。



▶「ハリスの足湯」



▶八幡神社

商店街の西側にあるのが、八幡神社です。ここは主人公の一人である凜子の家のモデルになっていますが、作中で描かれていたように山の中腹ではなく平地にあります。ストリーアの発端になる「お石様」も実在はしません。作中通りの姿を見ることができません。

商店街のいちばん南端で観光名所になっているペリーロード



▶ペリーロード



▶学校の制服が吊られている

も、よく登場しました。ペリーロードに面した喫茶店なども作中でよく使われています。二〇一三年に訪ねた時には洗濯屋さんの窓の中にアニメで主人公たちが着ていた学校の制服が吊られていて、彼女たちがこの町で暮らしている感じがすごくて嬉しかったのを覚えています。ペリーロードの東端にある広場から石段を登っていくと、OPで見覚えのある風景が見えて

静岡県の

第一回 伊豆下田

「夏色キセキ」

文・写真／都築 由浩

きます。山の斜面に作られた下田公園は、OPでも本編でも実にいいカット、いいシーンで使われています。

OPで主人公の四人がキメている展望台と、第七話の歌謡大会のステージがあるのが開国広場。ステージの奥の石段を上った先にあるのは昭和二十八年、開港百周年を記念して作られた開国記念碑です。



▶ステージ奥の石段



▶展望台



▶道の駅開国下田みなと

ここからは移動して、道の駅開国下田みなと周辺をご紹介します。ここまでは黒船を象った遊覧船サスケハナ（この名前はペリーが来航したときの旗艦の名前に由来します）に乗って下田港を周遊する港内めぐりにも乗船できます。

第七話で優香と凜子が食べにきた「千円バーガー」は、この道の駅で食べることができ「下田バーガー」がモデルです。具は伊豆名物の金目鯛のフライで、サクサクして美味しいです。第十話の舞台になった「ゆうれいホテル」は、ちょうど道の駅から国道を挟んだ反対側にあります。実際に閉鎖された廃ホテルなので、中に入ることはで

きません。

と、かなり大急ぎで『夏色キセキ』に登場した伊豆下田のポイントを紹介してきました。

もともと人気の観光地である伊豆下田では『夏色キセキ』とのコラボによって増加した観光客は大勢の一般観光客に埋もれてしまい、地元ではそれほどの経済効果があったとは評価されなかったようです。

しかし、作中に登場した喫茶



▶千円バーガー

オタクの名所巡り

店や八幡神社の絵馬かけを見ると、『夏色キセキ』のファンもたくさん訪れているのは間違いない。私が「もともとの観光地としての繁盛具合とアニメ作品の成否、地元での実感」というテーマを考えるきっかけになった場所なのでした。



▶富士屋ホテル

第五十六回日本SF大会 「ドンブラコンL」実行委員会

おしらせ



今回、広報局を務めることとなりました「ぱりん」と申します。

どっかの生放送やイベントの中の人だったりしますが今後共よろしくお願いいたします。

ドンブラコンLへは当日に向けて、様々な情報配信をインターネット中心でできるだけリアルタイムでお伝えしていこうと思います。ブログレスやホームページなど各所にも告知されておりますが、主にツイッター、フェイスブックを始めとしてSNSにおける情報発信やニコニコ生放送などを定期的に行っています。日本SF大会へ申込しただいてはいるみなさんに向けてもですが、「SFに興味がある」「SFってなに？」といった新生代の若者のみなさまにも知ってもらいやすくなるよう情報発信を予定しております。

ですが、その中で広報の一番の手段は「口コミ」だったりします！これからもどんどん情報発信や生放送を行っていきま



自主企画（持込企画）の申込受付の開始に付ては、今しばらくお待ちくだ

すので、アカウントをフォローやお友達登録をして頂き、またリツイートやシェア、いいね！をお願いいたします。

また、ニコニコ生放送ではスタッフ会議後の情報発信の「ドンブラコン公式生放送」〇漕ぎ目や、初心者向けの「SF初心者カフェ」〇〇の回やサポーター・バイ・ドンブラコンLの実行委員長池田武の地方のSFコンベンションや海外などの謎の放送など月に数本生放送やっておりますので是非ともご覧になりつつ、参加してみてください。

差し入れ、ツッコミ等大歓迎です。

ぜひともご意見もお待ちしております！

ニコニコチャンネル
『日本SF大会チャンネル』

さい。

「SF創作講座」からのお知らせです。

二年ぶりのご無沙汰です。自主企画「SF創作講座」教材用の小説を募集します。

簡易印刷で教材プリントを作成し、講師の先生（交渉中）と参加者に配布します。

□応募規定：一人一作品に限ります。

□応募資格：第五十六回日本SF大会「ドンブラコンL」に参加登録しているアマチュアの書き手で、大会当日SF創作講座に参加できる方。

□ジャンル：周辺諸ジャンルを含む広義のSF。ただし既存の新人賞へ応募した作品、同人誌に掲載した作品をそのまま転用するのは遠慮ください。

□メット：平成二十九年五月初旬予定。メル添付のみ受付。テキストファイル形式で作成した「表紙」「本文」「アンケート」をメールに添付してお送りください。改行ミスや機種依存文字による不備の責は負いませんので、著者による十分な事前チェックをお願いします。

【表紙】「作品タイトル」「著者名（ペンネームの場合は本名も併記）」「四〇〇字詰め原稿用紙換算枚数」「住所」（教材送付のため必要）「連絡先」（作品送付に用いたメールアドレスで可）を明記のこと。

【本文】四〇〇字詰め原稿用紙換算で、七〇枚以下。

★ルビが必要な原稿は下記文例のように表記してください。

文例：「SF」創作講座《そうさくこうざ》に出す

（ルビをふる場所のはじまりに一を入れおわりに《》を挿入してルビを入れる）

アンケート（以下の設問にお答えください）

一、応募作品について

① 作品を書くのにのべ何時間（何日間）かかりましたか

② 何回書きなおしましたか

③ 誰かにみせて意見を聞きましたか

④ 作中で一番気に入っているところはどこですか

⑤ 書きにくかったのはどんな部分ですか

⑥ ウケるはずだと思ったのはどこですか

⑦ これまで書いてきたものとこの作品とで意識して変えたものがありますか、あるとすればそれはどんなことですか

二、講師の先生にいちばん聞きたいことはなんですか

三、将来的にはどういう方向を考えていますか（商業誌デビュー／同人誌／個人の趣味として書き続けたい／その他）

詳細は未定ですが、書く楽しみを知ってしまったあなた、構想を練って、続報をお待ちください。

ご参加お待ちしております！



第56回日本SF大会
DONBURA CON L

Japan SF Convention Channel

日本SF大会
チャンネル

第56回日本SF大会
「ドンブラコンL」
公式ニコニコ生放送
スタッフ会議より

次回予告

ドンブラコンLL
プログレスレポート
第 2 号

2月発行予定



第56回日本SF大会 ドンブラコンLL公式サイト

<http://www.donbura.com/sf56/>

sf56_pub

/donburacon

参加の申込み、絶賛web受付中。

クレジットカード使えます。※Paypalを使用します

まもなく、自主企画webにて受付します。

初心者、いつもの、何でもお待ちしております。

STAFF MEETING

■第56回日本SF大会「ドンブラコンLL」スタッフ会議

基本的に、第56回日本SF大会「ドンブラコンLL」のスタッフ会議は、どなたでも参加自由です。参加を迷っている方や、企画をやってみたいという方など、少しでも興味がある方はお気軽に会議を覗いてみてください。

開催日時は来年4月までは確定していますが、場所は開催1ヶ月前に公式ウェブサイト、Facebook、Twitterなどで告知いたします。必ずご確認ください。

会議終了後は懇親会を兼ねた飲み会に移動します。懇親会からの参加も可能です。

*会議に参加したからといってスタッフ登録や、「ドンブラコンLL」への参加を強要するものではありません。

2016年 12月 10日(土)

2017年 1月 7日(土)

2月 5日(土)

3月 4日(土)

4月 8日(土)

*5月以降の日程は決まり次第ご案内いたします。

*開催時間 13:00~17:00(予定)

*会議終了後、会議場所近場にて懇親会あり(参加自由)

*開催場所 都内(1ヶ月前告知予定)

PR



開催日程 2017年8月26日(土)~27日(日)

会場 三保はごろも温泉 三保園ホテル
静岡県静岡市清水区三保2108番地

募集人数 300名 ※定員になり次第切

参加条件 ①第56回日本SF大会「ドンブラコンLL」の参加者であること

②会期の開始日に満20歳以上であること ※ただし保護者同伴の場合を除く

参加会費 大人(中学生以上) 12,000円(税込)
子供(小学生以下) 8,000円(税込)
※申込完了日(※1)が
2016年12月31日まで

主催 コンパック実行委員会
実行委員長 三浦範久
(牛井飯面)(※2)

静岡の熱い夜が、ふたたび戻ってくる!!!
「コンパック二〇一七in静岡」開催決定!!!!
SF好きな人寄っといで!
食べましょ、飲みましょ、話しましょ!
みんなで宴会、朝までコース!

こんにちは。
コンパック実行委員長の三浦範久
@牛井飯面です。

きたる二〇一七年は、二年間の充電期間を経てコンパックが復活します。

二〇一六年の日本SF大会は合宿型大会でしたからコンパックはお休みしました。

二年間のお休みを頂いてスタッフ一同フル充電状態に戻りました。笑

さてさて、毎度言ってる事ですが、私はコンパックを開催するにあたり、いつも二つの事を心掛けて開催しています。

それは、

①コンパック参加者の全員が「次のコンパックもまた参加したいな」と思ってくれるコンパックにする。

②スタッフ自身が楽しめないコンパックは参加者も楽しめない。スタッフも楽しめるコンパックにする。

の二つであり、この二つの信念について私は曲げたくないし、その信念を捨てた時にコンパックは面白さを失うと思っています。

ですから、二〇一七年のコンパックもこの二つの誓いを厳守しながら開催の準備を進めていく決心をしています。

てな訳で、面白いコンパックを目指し、皆様の御参加をスタッフ一同心よりお待ち申し上げますので、どうぞ、来年のコンパックは御期待ください。

コンパック実行委員長

三浦範久@牛井飯面

補足 ※1 申込完了日とは、参加申込後、参加費の振り込みが完了した日となります。

※2 コンパック実行委員会は、第56回日本SF大会「ドンブラコンLL」実行委員会とは別団体であり、参加費会計等についても別々に運用しております。

※3 参加者が他の参加者に迷惑を及ぼし、または企画の円滑な実施を妨げるおそれがあるとコンパック実行委員会が判断する場合には、参加をお断りする場合があります。

その他、コンパック実行委員会の業務上の都合により、参加をお断りする場合があります。

<http://www.conpack.info/>

申し込み受付中! 詳しくはコンパック公式サイトへ!

SF初心者カフェ

SF Beginner's cafe

SF初心者カフェは「SFって、聞いたことあるけど、何それ美味しいの？」という人へ、SF(サイエンスフィクション)とは何か、SFの楽しみ方などを教えます。



Japan SF Convention Channel

日本SF大会

チャンネル

JR／小田急線〈町田〉駅より徒歩5分以内

町田オタク・サブカルバー「スイング・バイ」にて隔月開催

<http://swing-by.tokyo/>

<http://ch.nicovideo.jp/sfconch>

ニコニコ生放送〈日本SF大会チャンネル〉同時中継

11月29日(火)19:30より～SF小説の回～(喋り：たきなおや／聞き：小浜徹也)

